ソーシャルインパクト・ボンド(SIB)セミナー2018―英米の事例を中心に

英米の協働的かつエビデンス・ベーストな実践から学ぶ
―日本版 SIB モデル開発に向けて英米 SIB の教訓から学ぶ（同時通訳付き）―

2018 年 5 月 25 日（金）　18:30-20:30
明治大学駿河台キャンパス（アカデミーコモン 308G）

ソーシャルインパクト・ボンド（social impact bond: SIB）は、2010 年に英国のピーターバラ刑務所で世界初の SIB が組成され、さらに 2012 年には全米初の SIB（ペイ・フォー・サクセス）がニューヨークのライカーズ島刑務所で開始されて以来、急激に世界中の注目を集めている。

SIB は以下のように定義される。「SIB は成果ベース又はパフォーマンス・ベースでの資金提供や官民連携などいくつかの要素を組み合わせたものである。そして、SIB は公共サービスに運営資金を複数年度に渡り提供するために活用されてきたアプローチである」。SIB は新しいアウトカム・ベース公共調達や成果連動型契約、ソーシャルファイナンス、社会的インパクト投資、社会イノベーションの手段などと考えられている。実際、社会課題の解決や行政パフォーマンスの改善を実現するための革新的アプローチという点に着目して、SIB プログラムによる様々な介入が、ホームレス支援や若年無業者支援、再犯防止、児童福祉、教育、健康予防サービスなど、多様な分野で導入されてきた。

日本においてもいつくかの省庁では、アウトカム・ベース公共調達や社会的インパクト投資、社会的インパクト評価の醸成・促進に熱心に取り組むところが出ており、2015 年以来、経済産業省や厚生労働省、内閣府、総務省等が、SIB パイロット事業の開発のために財政的支援を実施してきた。しかしながら、そのような財政支援に割く政府予算はわずかな規模にとどまっている。また、SIB の可能性に対する熱狂の一方で、懐疑も根強くあるのも事実である。

このような背景の中、2015 年から日本では、いくつかの助成財団や銀行、NPO、中間支援組織が横須賀市、尼崎市、神戸市、八王子市、横浜市等で、官民協働で SIB パイロット事業を立ち上げてきた。しかしながら、多くの場合、SIB パイロット事業は官民連携モデルやエビデンス・ベーストな実証実験としては不完全なものにとどまっている。すなわち、全体として参加的なガバナンスを欠いており、アウトカムメトリクスやインパクト計測手法も洗練されたものではなかった。実際に、初期の SIB パイロット事業は財団主導の助成金モデルという性格が強く、そのようなスキームでは、モデルのデザインや実際の運営における政府の関与や貢献度がかなり限定される傾向がみられる。日本の助成財団主導の SIB は、政府向けの財団のブランディングやプロパガンダとしては成功したと言えるだろう。しかし、そのようなスキームは多くの場合、洗練された評価手法やデータ管理が欠落しているために、プログラムを通じて生じた社会的変化についての厳格なエビデンスが不足しているのが実情である。さらに言えば、そのような助成財団主導のスキームはコレクティブ・インパクトや多様なステークホルダーの協働を欠いているため、投資家（財団）主導の「トップ・ダウンモデル」とみなすことができる。

このような理由から、今回の SIB セミナーでは、英米におけるエビデンス・ベーストな SIB プロジェクトにパートナーシップで取り組んでいる卓越したリーダーたちをお招きし、実際の経験を語ってもらう。この 2018 年のセミナーのアジェンダは「英米の協働的かつエビデンス・ベーストな実践から学ぶ：日本版 SIB モデルの開発に向けて英米の SIB の教訓から学ぶ」である。特に、協働的かつエビデンス・ベーストな SIB プログラムを発展させるための、サービス提供者、中間支援組織、大学の役割に着目する。

英・米国におけるソーシャル・インパクト・ボンド　セミナー　2018

英米の協働的かつエビデンス・ベーストな実践から学ぶ

—日本版 SIB モデル開発に向けて英米 SIB の教訓から学ぶ（同時通訳付き）—

2018 年 5 月 25 日（金）　18:30–20:30　明治大学

文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業（明治大学）・ADB 連携事業

セミナー: アジェンダ	
・本セミナーは、英米における協働的かつエビデンス・ベーストな SIB 実践の教訓から学び、日本の SIB モデルの開発へつなげることを目的としている。 ・どのようにサービス提供団体や投資家、政府などのステークホルダーが共通価値やデザイン、運営プロセス、そして社会的インパクトを集合的に共有することができるのだろうか。 ・協働的かつエビデンス・ベーストな SIB プログラムを発展させるための、サービス提供者、中間支援組織、大学の役割に着目する。	
■日時	2018 年 5 月 25 日金　18:30-20:30
■場所	明治大学アカデミーコモン 8 階 308G 101-8301　東京都千代田区神田駿河台 1-1 http://www.meiji.ac.jp/cip/english/about/campus/surugadai.html
■主催	・明治大学主催 (非営利・公共経営研究所) ＊文部科学省「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」の研究助成事業
■ 同時通訳	株式会社　サイマル・インターナショナル
プログラム	
開会のあいさつ (18:30-18:40)	塚本一郎　明治大学経営学部教授
第 1 部: 英米におけるソーシャル・インパクト・ボンド　**18:40-19:40**	
講演 1 18:40-19:00	イギリスにおけるソーシャル・インパクト・ボンドとアウトカム・ベース公共調達：協働的かつエビデンス・ベースな SIB モデルのためのガバメント・アウトカム・ラボの戦略 マーラ・アイロルディ氏　（オックスフォード大学　ブラバトニックスクールオブガバメント、ガバメント・アウトカム・ラボ　ディレクター）
講演 2 19:00-19:20	アメリカにおけるペイ・フォー・サクセス契約（SIB）：ペイ・フォー・サクセス契約のデザインと運営における中間支援組織の役割と SIB を成功させるための課題 ケヴィン・タン氏　（サードセクターアジア　創設者、元サードセクターキャピタル在職）
講演 3 19:20-19:40	マサチューセッツ再犯防止のペイ・フォー・サクセス　イニシアティブ：ペイ・フォー・サクセス契約のデザインと運営における非営利サービス提供団体の役割と SIB を成功させるための課題 アリー・リヴェジー・メイナード氏　（ロカ　グラント開発ディレクター）
第 2 部：ディスカッション　**19:40-20:30**	
パネルディスカッション 19:40-20:00	塚本一郎 (明治大学経営学部教授) 金子郁容 (慶應義塾大学名誉教授、明治大学経営学部特任講師), 吉岡貴之 (岡山大学グローバル・ディスカバリー・プログラム　准教授)
質疑応答 20:00-20:30	

プロフィール

	マーラ・アイロルディ氏 オックスフォード大学の公共政策大学院 ブラヴァトニック・スクール・オブ・ガバメントに併設されているガバメント・アウトカム・ラボ（GoLab）でディレクターを務める。Go Lab は様々なステークホルダーでのコラボレーションを通し、より良い社会アウトカムを達成するために公的セクターの革新的な取り組みを支援している。 アイロルディ氏はボコーニ大学、ロンドン・スクール・オブ・エコノミクスで学位を取得し、経済学者であり意思決定のアナリストとしてのバックグランドがある。また、ロンドン・スクール・オブ・エコノミクスとオックスフォード大学にて研究、教育に従事してきた。 アイロルディ氏は 10 年以上、自治体やイギリス・イタリアの国民保健サービス（NHS）と協働し研究を行っている。さらに、カナダのオンタリオの保健・・長期ケア省や内務省、イギリスの防衛省、環境・食糧・農村地域省、NATO 、グローバルファンド(the Global Fund to fight Aids)でも活躍した。
	ケヴィン・タン氏 サードセクターアジアの創設者。彼は世界中の複雑な社会課題に立ち向かうべく SIB のような 3 つのセクターが協働するような手法の活用に注力している。サードセクターでは、公衆衛生や児童向け早期介入サービス、ホームレス、再犯防止などいくつもの SIB や、ユタ州ソルトレイクカウンティにおいて初の SIB ポートフォリオプロジェクトなどに従事した。サードセクター所属前にもイスラエルやシンガポールにおいて SIB の実行可能性予備調査の助言などを行っていた。 ケビン氏はボストンのハーバードビジネススクール大学やシンガポールのスラッシュアジア、日本財団、深圳のセンター・オブ・グローバル・フィランソロピー機構、広州のミルケン機構、香港台湾の AVPN においてアジアの背景から SIB を導入することについて演説した経験を持っている。
	アリー・リヴェジー・メイナード氏 ロカのグラント開発のディレクター。ロカは若年層に対して再犯や貧困に陥る悪循環を断ち切ることをミッションとする成果重視のアメリカ NPO 団体。2014 年にロカは 9 年間におけるマサチューセッツ犯罪防止 SIB プロジェクトのサービス提供団体となり、現在ではアメリカで最大規模の SIB プロジェクトにまで発展した。ロカの SIB 契約は前例のないほど多くの公的・私的財源を使用し、17 歳から 24 歳の 1300 人もの若い男性が対象となったマサチューセッツの再犯防止システムとしての注目を集めた。 メイナード氏は社会的課題改善におけるエビデンス・ベースの実証実験やセクターの壁を越えたパートナーシップなどに従事したのち、2013 年にロカに入り、NPO 運営や資源開発、若年層向け団体への戦略的プランニングなどの経験を活かし活躍している。グラント開発のディレクターとして、ロカの公的・私的財源調達やアウトカム・ベース契約の支援、戦略的プランニング、評価、プログラム開発、対外事務などに従事している。メイナード氏はサイモンカレッジで MBA を、ボストンカレッジで学士を習得。さらに、社会正義や国際人権法、発展経済学などをメキシコのエル・サルバドールとアイルランドで学でいる。

	塚本一郎氏（明治大学経営学部教授，公共経営・社会戦略研究所代表，明治大学非営利・公共経営研究所代表） 早稲田大学法学部卒，一橋大学社会学研究科博士課程単位修得退学。佐賀大学経済学部助教授，明治大学経営学部助教授等を経て現職。専門は非営利組織論，社会的企業論。主に日英の社会的企業の国際比較研究に従事。近年は，社会的投資収益率分析（SROI）等のインパクト評価や SIB の研究と実践に取り組む。2009 年に明大のインキュベーション施設を拠点に，（株）公共経営・社会戦略研究所（公社研）を立ち上げ，20 ケース以上の SROI によるインパクト評価を実施（国内最大の実績）。主要著書は，*New Public Governance, the Third Sector and Co-production*.（Pestoff, V., T. Brandsen, and B.Verschuere, eds. London: Routledge,2012）（共著），*Social Enterprise: A Global Comparison* (Janelle A. Kerlin ed. Medford: Tufts University Press)（共著）。『ソーシャル・エンタープライズ』（丸善）（共著）『ソーシャルインパクト・ボンドとは何か』（ミネルヴァ書房）（共著）など多数。
	金子郁容氏（慶應義塾大学名誉教授，明治大学経営学部特任講師） 慶應義塾大学工学部卒，スタンフォード大学にて Ph.D.（工学博士号）を取得。ウィスコンシン大学准教授、一橋大学教授などを経て，1994 年より慶應義塾大学教授。2014 年度から明治大学特任講師。専門は情報組織論，ネットワーク論，コミュニティ論。金子郁容教授の研究領域は幅広く，社会企業家研究から情報科学、国の ID システムにまで及ぶ。現在、政府とともに，国の「マイナンバー制度」確立にも従事。主要著書は，“Social Entrepreneurship in Japan: A Historical Perspective on Current Trends,” *Journal of Social Entrepreneurship,* 2013，『ボランティア もうひとつの情報社会』（岩波新書），『ボランタリー経済の誕生』（実業の日本社）（共著），『日本で「一番いい」学校―地域連携のイノベーション』（岩波書店），『コミュニティのちから』（慶應義塾大学出版会）（共著），『ソーシャルインパクト・ボンドとは何か』（ミネルヴァ書房）（共著）など多数。
	吉岡貴之（岡山大学グローバル・ディスカバリー・プログラム准教授） 専門は非営利組織論。慶應義塾大学総合政策学部、ジョージタウン大学公共政策大学院を経て、インディアナ大学フィランソロピー研究科で Ph. D. を取得。その後、ノースカロライナ大学でポスドクをし、帰国後、明治大学共同研究員としてソーシャルインパクト・ボンドの研究にかかわる。2016 年より現職。主要な出版物として、Representational Roles of Nonprofit Advocacy Organizations in the United States. VOLUNTAS. 2014 vol.25(4) や、The Relationship between Provision of Membership Benefits and Fulfillment of Representational Roles in Nonprofit Advocacy Membership Organizations, Nonprofit Management & Leadership. 2017 vol.28(2) 等がある。

会場までのアクセス

地下鉄出口
JR 改札出口
明治大学
駿河台キャンパス
猿楽町校舎
グローバルフロント
アカデミーコモン
大学会館
研究棟
リバティタワー
山の上ホテル
杏雲堂病院
B1
ニコライ堂
日大病院
明大通り
丸の内線
御茶ノ水駅
JR 線
千代田線
新御茶ノ水駅
B3
B4
B5
小川町
紫紺館
駿河台下交差点
三省堂書店
靖国通り
A5
A7
新宿線
神保町駅
三田線
半蔵門線